

看護部運営における ICT の活用

— Google ドライブを使った看護師長間の情報収集と共有 —

福井大学医学部附属病院 江守 直美

【概要】

当院では病院再整備を機に、全職員への Google Apps アカウントの配布、スマートフォン導入など、院内の ICT が急速に進行している。一方、2 交代で夜間管理業務を行う看護師長が、効果的に看護管理や委員会活動を行うためには、院内の ICT を有効活用して情報収集・共有を行う必要がある。そのため、新しい ICT に苦手意識を持つ看護師長への支援体制の整備が重要である。そこで、2 つの実践目標を掲げて看護師長への介入を行った。目標①「看護師長が Google ドライブ共有シート（以下共有シート）を使える支援体制作り」では、情報担当看護師長に Google アカウントの取得方法、Google ドライブの使用方法についての資料作成と説明を依頼し、6 月の看護師長会議で実施した。また、個別に Google アカウント取得と共有シートの使用方法を支援した看護師長は 28 名中 17 名、その内 11 名（65%）は病棟担当看護師長であった。共有シートへの看護師長のアクセス者数は、28 名中支援開始時 14 名（50%）から半年後 19 名（67.9%）に増加した。アクセスまでの日数は、支援開始時・半年後共に、支援ありは平均 4.4 日であった。共有シートを作成できた看護師長は、支援あり 17 名中 5 名（29%）、支援なし 11 名中 2 名（18%）と、支援ありが多かった。目標②「Google ドライブを使える PC の環境整備」では、医療情報部にサポート期限切れ OS 搭載 PC を更新購入する後継機種を選定してもらうように働きかけたところ、PC の納入期間が介入前平均 71±14 日から、介入後平均 35.8±12 日に短縮した。

【背景】

病院に電子カルテが普及し、看護部運営においても ICT は必要不可欠なものになった。当院では病院再整備に伴い、全職員への Google Apps アカウントの配布、電話・ナースコールへのスマートフォン導入など、院内の ICT が急速に進行している。一方、2 交代で夜間管理業務を行う看護師長が、効果的に看護管理や委員会活動を行うためには、院内の ICT を有効活用して情報収集・共有を行えるようになる必要がある。そのため、新しい ICT に苦手意識を持つ看護師長へは、電子メール導入時のように、支援体制の整備が重要である。

【実践計画】

1. 期間：平成 25 年 6 月～平成 26 年 1 月、対象：F 病院看護師長 28 名。
2. 実践計画
 - 1) 看護師長が Google ドライブを利用して業務関連の情報収集・共有を行える支援体制作り
 - (1) 情報担当看護師長に Google アカウントの取得方法、Google ドライブ共有シートの使用方法についての資料作成と看護師長会議での説明を依頼し、実施してもらう。(6 月)
 - (2) 各部署に看護師長を支援できる看護師を作り、看護師長のサポート体制をつくる。(9～10 月)
 - 2) Google ドライブが使える PC の環境整備
 - (1) 故障したサポート期限切れ OS 搭載 PC は、関連部門と連携し代替購入する。(9～1 月)
3. 介入の評価方法
 - 1) 看護師長への Google ドライブ共有シートの使用方法支援の有無で 2 群に分け、支援開始時と半年後に、共有シートへの看護師長のアクセス履歴より、①アクセス者数、②アクセスまでの日数、③アクセスしていた時間帯、④共有シートを作成できた看護師長数を調査する。
 - 2) サポート期限切れ OS 搭載 PC の更新購入への、介入前後 5 か月間の納入までの期間を調査する。
4. 分析方法：各項目を単純集計し、看護師長の共有シートへのアクセス行動の変化と PC 納入期間の

変化より、介入の効果を分析する。

5. 倫理的配慮：看護師長会議で共有シートを活用した業務や委員会の情報収集・共有を行う旨の説明と了承を得て実施し、アクセス履歴の使用は看護部倫理委員会と看護師長会議の承認を得て行う。

【結果】

1. 対象者の背景

対象である看護師長 28 名の平均年齢は 52.5 ± 5.5 歳、50 歳以上が 23 名 (82%)、看護師経験は平均 30 ± 5.2 年、看護師長経験は平均 11.5 ± 10.5 年、10 年以上の看護師長経験者が 16 名 (57%) であった。

2. 看護師長への支援体制作りについて

共有シートを使えるように、情報担当看護師長に Google アカウントの取得方法、Google ドライブの使用方法についての資料作成と看護師長会議での説明を依頼し、6 月の看護師長会議で説明会を実施した。その後、個別に Google アカウント取得と共有シートの使用方法を支援した。支援した看護師長は 28 名中 17 名、その内 11 名 (65%) は病棟担当看護師長であった。

共有シートへの看護師長のアクセス者数は、28 名中支援開始時 14 名 (50%) から半年後 19 名 (67.9%) に増加した。支援ありでは 17 名中 13 名 (76%) から 14 名 (82%) に、支援なしは 11 名中 1 名 (9%) から 5 名 (45%) に増加した (図 1)。アクセス者数は支援ありが多く、いずれも半年後は増加傾向にあった。アクセスまでの日数は、全体・支援ありでは支援開始時・半年後共に、平均 4.4 日と変化はなかった。支援なしでは、支援開始時平均 4.4 日、半年後平均 3.8 日であった。

自ら共有シートを作成できた看護師長数は、支援ありでは 17 名中 5 名 (29%)、支援なしは 11 名中 2 名 (18%) と、支援ありが多かった。共有シートへアクセスしていた時間帯は、ほとんどは日勤の時間帯であったが、夜勤時の早朝アクセスしている看護師長もいた (図 2)。

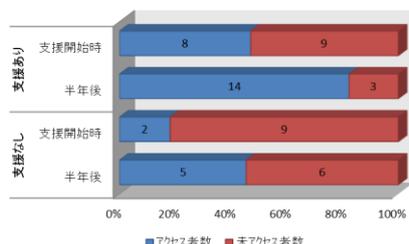


図 1 支援の有無と共通シートへのアクセス者数の変化

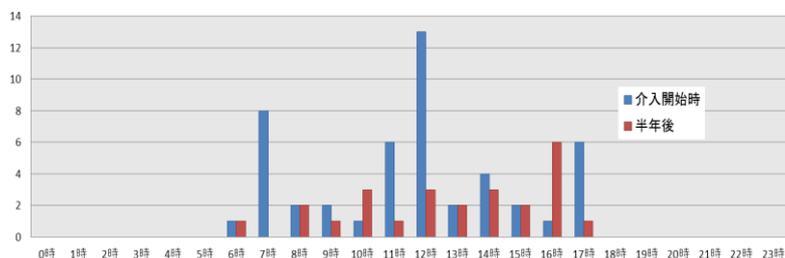


図 2 共通シートへアクセスしていた時間帯

3. Google ドライブが使える PC の環境整備

平成 25 年 4 月～8 月、介入前の修理不能の PC は 2 台あったが、後継機種が決まらない状況であった。そこで、医療情報部・ME 機器管理部・事務局と連絡を取り、サポート期限切れ OS 搭載の故障 PC 2 台については、医療情報部に後継機種を選定してもらい、順次代替購入することになった。その結果、更新納入までの期間は、介入前平均 71 ± 14 日であったが、介入後の平成 25 年 9 月～平成 26 年 1 月では、故障 PC 4 台の納入まで平均 35.8 ± 12 日に短縮した。

【評価及び今後の課題】

今回、新病棟業務に関する事項の情報収集に、共通シートをよく使用したため、必要に迫られて使った病棟担当看護師長が多く活用していたと考える。また、共有シートへ書き込む場合は、インターネット環境があればいつでもどこでも自分の都合に合わせてアクセスすることが可能である。更に、共有シートを作り情報収集する場合、リアルタイムに複数の人が書き込み、記載内容も一目瞭然でデータのまとめ作業も不要なことより、便利さに気付いた人が活用したと考える。一方、サポート切れ OS 搭載 PC については、医療情報部に後継機種の選定を働きかけたことが納入までの期間短縮に繋がったといえる。今後、引き続き支援が必要な看護師長や副看護師長も活用できるように支援することが課題である。